

循環器後期研修医プログラム各病院の特徴

施設名( 医療法人社団 高邦会 福岡山王病院 )

	疾患名・項目	症例数(年間)	特徴的な事柄
1	心臓カテーテル	118例	虚血性心疾患を中心に検査を行っている。
2	コナリーインターベンション	41例	症例は少ないが、FFR、IVUSなど通常のPCIはすべて可である。
3	アブレーション	333例	そのうち約80%は心房細動、20%はその他(WPW,PSVT,AT,AFL,VPC,VT)
4	循環器救急	10例	ほとんどないので、夜起こされることはまずない
5	開心術	—	心臓外科がない
6	CT(冠動脈CT)	64例	通常、1日1例まで。
7	頸動脈エコー	19例	検査室にてすぐにできる。
8	経食道エコー	276例	心房細動のアブレーション前に全例施行している
9	下肢インターベンション	—	昨年は症例なし。 症例あれば対応可。
10	医局との兼ね合い	ハートリズムセンターは医局からの派遣なし、循環器内科(不整脈以外)は九州大学循環器内科から派遣	
11	学会発表	昨年の日本循環器学会で、ハートリズムセンター2人で6演題発表	
12	論文執筆	1~2本/年は執筆可能	
13	患者特性	全室個室なので、比較的高品位	
14	地域特性	アブレーションの紹介は、市内からが1/3、市外で県内が1/3、県外(神戸、長崎、佐賀等)からが1/3	
15	その他	今後は心臓カテーテル、PCI、下肢インターベンションの増加が見込まれる。	